

国際貢献賞



きよの じゅんじ
清野 純史

生年月日：1957年9月15日

国籍：日本

現職：京都大学 名誉教授

略歴：1983年 京都大学防災研究所 助手

1993年 山口大学工学部 助教授

1995年 JICA短期派遣専門家（トルコ）

1996年 京都大学工学研究科 助教授

1997年 文部省 イラン東北部ガエン地震被害調査団

1999年 土木学会 トルココジャエリ地震被害調査団

2001年 土木学会 インド西部地震被害調査団

2004年 文部科学省 イラン南東部バム地震被害調査団

2005年 土木学会 バンダアチェ（インドネシア）防災教育支援活動

2005年 京都大学 防災教育の会(KiDS)によるインドネシアでの防災教育

2006年 土木学会／国境なき技師団インドネシア地盤調査技術支援

2008年 JICA AUN/Seed-Netプロジェクト本邦支援大学の分野幹事

2009年 京都大学工学研究科 教授

2009年 立命館大学 特別招聘教授

2012年 京都大学地球環境学堂 教授（併任）

2013年 JICAミャンマー国工学教育拡充プロジェクト

2015年 JST ネパール大地震関連国際共同研究調査支援プログラム(J-RAPID)

2021年 日本地震工学会 会長

（インドネシア、タイ、台湾の3ヶ国と国際学術交流協定を締結）

表彰理由：

清野純史氏は、2004年にインドネシアで起こったスマトラ沖地震津波を契機に、学生ボランティアグループである京都大学防災教育の会(KiDS)を組織の上で、2005年から2023年まで計16回に渡り、インドネシア各地で地元小学生を対象に防災教育を行い、その啓蒙活動に尽力した。

また、JICAによるアセアン工学系高等教育ネットワーク(AUN/SEED-Net)プロジェクトの第2フェーズから第4フェーズ(2008-2023)までの15年間は、国内支援大学としての京都大学の分野別幹事として活動した。地質・資源工学や自然災害分野のASEANメンバー校のマネジメント活動を支援する他、マレーシアやミャンマーの多くの博士学生や研修員の受け入れを行うことにより、日本とアセアン諸国の工学ネットワークの構築に貢献した。

更に、JICAミャンマー国工学教育拡充プロジェクト(2013~)に参画し、2018年からは土木系の幹事として、ヤンゴン工科大学(YTU)とマンダレー工科大学(MTU)の研究や教育の質の向上、人材育成に大きく寄与した。

以上の同氏のこれまでの長年の功績は、土木学会国際貢献賞の受賞者としてふさわしいと認められる。